

デジタル技術導入推進事業 11,000 千円(電気:3,600 千円 工水:7,400 千円)

(1) 趣 旨

水力発電所や工業用水道の管路や導水トンネルの点検、維持管理等において、デジタル技術を導入することで、作業の効率化や安全を確保し、電気及び工業用水の安定供給体制の強化を図ります。

POINT

デジタル技術を活用し、効率的・効果的な維持管理や計画的な老朽化対策などを実施することで、電気及び工業用水の安定供給を確保

(2) 事業内容

① AIによる導水路点検・診断システムの試験導入

無人カメラを活用した通水状態での導水トンネルの点検等を実施し、損傷状況等の自動判別、健全性の診断等の高度化

【現在の導水トンネル点検状況】



《断水による点検》

【通水状態での点検状況（試作機）】



② リモート現場管理の推進

・リモート現場管理端末を活用し、現場立会や点検作業を効率化

(3) 事業計画

区分	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
AIによる導水路点検・診断システム	開発		試験導入		本格導入

【電気事業・工業用水道事業（共通）】

水源林整備推進事業 22,000 千円(電気:5,500 千円 工水:16,500 千円)

(1) 概要

森林の持つ水源涵養機能の維持・増進を目的として、県農林水産部の実施する水源ダム上流部における間伐・再造林事業に対して支援し、森林整備の促進を図ります。

(2) 事業内容

水源ダム上流部 14 箇所 計 591 ha (間伐: 551 ha、再造林 40 ha)

(参考) 令和 4 年度実績 水源ダム上流部 10 箇所

計 621 ha (間伐: 575 ha、再造林 46 ha)

【電気事業・工業用水道事業（共通）】

水を守る森林づくり推進事業 2,400 千円(電気:800 千円 工水:1,600 千円)

(1) 概要

森林の持つ水源涵養機能についての理解醸成を図るため、県農林水産部との共催により、利水企業等と協働で水源の森林づくり活動に取り組みます。

(2) 事業内容

水源ダム上流部又は水源地域の 5 地区において、除伐等の森林づくり活動を実施

(参考) 令和 4 年度実績 参加企業数: 81 社

参加者: 514 人 (企業参加者のみ)



《水を守る森林づくり活動》